# 財政状況をお知らせします

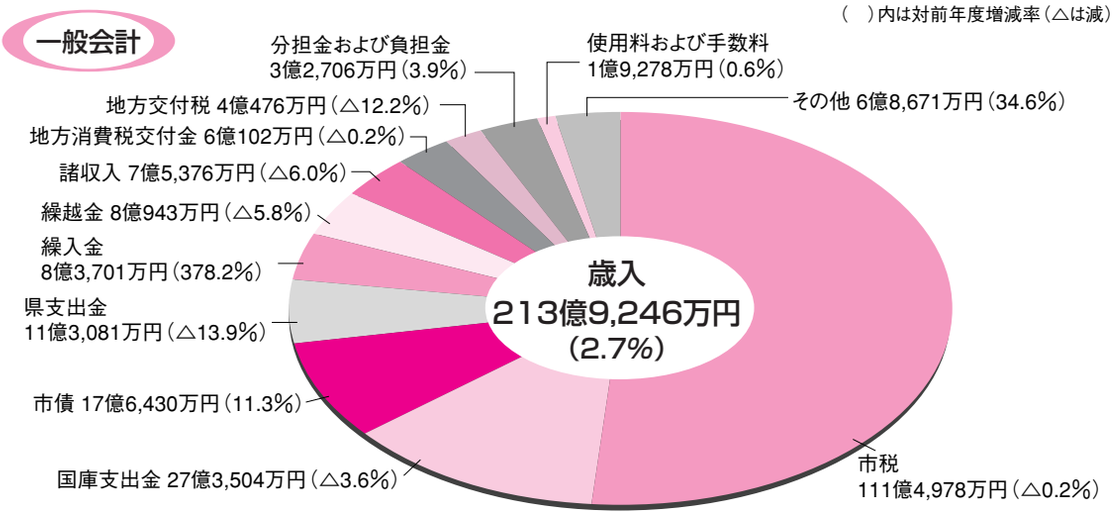
平成24年度の決算状況や財産・市債の残高などをお知らせします。

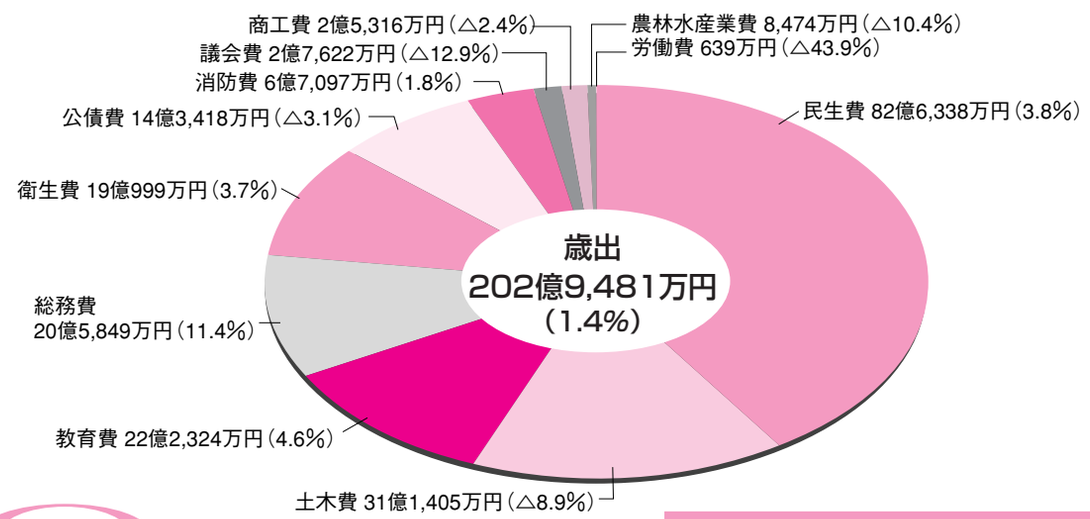
▼問合せ　企画政策課　財務係（☎(95)0146）

## 平成24年度　決算状況

### 一般会計

（　）内は対前年度増減率（△は減）




歳入と歳出の差し引き10億9,765万円は平成25年度に繰り越しました。

平成24年度も普通交付税の交付団体になりました。

### 特別会計

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 |
|---|---|---|
| 国民健康保険 | 56億8,776万円 | 55億2,733万円 |
| 公共下水道事業 | 17億6,262万円 | 17億1,686万円 |
| 土地取得 | 225万円 | 225万円 |
| 介護保険 | 25億1,683万円 | 24億7,919万円 |
| 後期高齢者医療 | 5億9,041万円 | 5億8,861万円 |
| 合計 | 105億5,987万円 | 103億1,424万円 |

### 企業会計　水道事業

| 区分 | 収入 | 支出 |
|---|---|---|
| 収益的収支 | 11億4,392万円 | 10億4,186万円 |
| 資本的収支 | 2億7,916万円 | 6億2,402万円 |

## 平成24年度の主な事業

**●総務費（事務管理、庁舎管理、防災、選挙などの経費）**
- 基幹系電算システム再構築事業　1億3,393万円
- 町内公民館等整備事業　4,644万円
- 市長選挙、市議補欠選挙費　1,596万円

**●民生費**
**（生活保護、医療、手当等の福祉、保育などの経費）**
- 子ども手当支給事業　14億149万円
- 生活保護扶助費　8億9,830万円
- 南保育園建設事業　4億8,856万円

**●衛生費（保健、ごみ・し尿収集および処理、環境保全充実のための経費）**
- ごみ収集事業　2億8,458万円
- 妊産婦・乳幼児健診事業　1億672万円
- 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種事業　9,046万円

**●土木費**
**（道路・橋・公園などの都市環境整備のための経費）**
- 知立駅周辺土地区画整理事業　6億1,803万円
- 連続立体交差事業　5億8,911万円
- ミニバス運行事業　4,036万円

**●消防費**
**（消防、救急などに係る経費）**
- 衣浦東部広域連合負担金　6億1,965万円

**●教育費**
**（小・中学校の施設整備、文化会館などに係る経費）**
- 文化会館指定管理委託料　2億5,068万円
- 少人数学級・きめ細かな指導教員配置事業　4,830万円
- 多目的広場整備事業　3,535万円

# 財政状況をお知らせします

## 市税の状況

| 税目 | | 決算額 | 前年度増減率 |
|---|---|---|---|
| 市民税 | 個人 | 46億4,991万円 | 4.7% |
| | 法人 | 8億1,466万円 | △2.2% |
| 固定資産税 | | 42億7,343万円 | △4.0% |
| 軽自動車税 | | 9,137万円 | 2.7% |
| 市たばこ税 | | 3億8,390万円 | 0.5% |
| 都市計画税 | | 9億3,651万円 | △3.8% |
| 合計 | | 111億4,978万円 | △0.2% |

※都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業の費用に充てることを目的とした税金です。平成24年度の充当事業は次のとおりです。

| 都市計画税充当事業 | 充当額 |
|---|---|
| 街路事業 | 838万円 |
| 公園事業 | 2,481万円 |
| 下水道事業 | 6億9,821万円 |
| 土地区画整理事業 | 7,351万円 |
| 都市計画事業関連の市債償還費 | 1億3,160万円 |

## 市債の状況

市債残高（平成24年度末）

255億4,472万円

（前年度比較　5億2,934万円増）

生活基盤となる道路、公園、下水道、学校などを整備するときに、国などから借り入れるお金です。市債には、将来的に利益を受けるであろう市民にも返済を負担してもらい、世代間の公平を図るという役割があります。

将来の財政負担が大きくならないように慎重に事業を選択し計画的な借入を行っていきます。

## 市有財産の状況

基金 56億958万円（前年度比較 7,241万円増）

| 区分 | 土地（面積） | 建物（延面積） |
|---|---|---|
| 行政財産 | 729,292.09㎡ | 156,252.40㎡ |
| 普通財産 | 49,414.76㎡ | 59.18㎡ |
| 合計 | 778,706.85㎡ | 156,311.58㎡ |

■知立市の財政状況を市民一人あたりで考えると…

基礎数値（平成25年3月31日現在）　人口　70,462人

◇平成24年度に使われたお金を一人当たりにすると　202億9,481万円÷70,462人＝288,025円

◇皆さんが納めた市税を一人あたりにすると　111億4,978万円÷70,462人＝158,238円

◇市債の残高は一人あたり　255億4,472万円÷70,462人＝362,532円

## 健全化判断比率および資金不足比率

平成24年度決算に基づき、健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率をお知らせします。（比率がない場合は、「ー」となります。）

### 1.　健全化判断比率

| 指標名 | 各比率 | 早期健全化基準 |
|---|---|---|
| 実質赤字比率 | ― | 13.05% |
| 連結実質赤字比率 | ― | 18.05% |
| 実質公債費比率 | 2.6% | 25.0% |
| 将来負担比率 | ― | 350.0% |

実質赤字比率…一般会計等が黒字か赤字かを示す指標

連結実質赤字比率…全会計でみた場合の黒字か赤字かを示す指標

実質公債費比率…一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標

将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標

早期健全化基準…財政健全化への取り組みが必要となる基準値

### 2.　公営企業ごとの資金不足比率

| 特別会計名 | 資金不足比率 | 経営健全化基準 |
|---|---|---|
| 下水道事業特別会計 | ― | 20.0% |
| 水道事業会計 | ― | |

資金不足比率…企業の経営が黒字か赤字かを示す指標

経営健全化基準…財政健全化への取り組みが必要となる基準値

平成24年度決算における健全化判断比率は、いずれも国の基準である早期健全化基準を下回っており、各公営企業の資金不足比率も、経営健全化基準を下回っており、これらの比率において知立市は健全であるといえます。